

## 第 12 回（2012 年） ざまひまわり写真コンテスト全体講評

### 【全体講評】

「ざまひまわり写真コンテスト」も回を重ね第 12 回を迎えました。今回のコンテストでは、応募点数が 1,170 点、応募者も 511 人と、前回と比較しほぼ倍増いたしました。このことは、ひまわり写真コンテストが皆様に愛される事業としてこれまでも増して定着してきたものと嬉しく感じております。

次に、応募作品の傾向についてご説明いたしますと、ひまわり畑の広さを感じさせるもの、夕焼けを背景として取り入れたもの、夏の日の暑さを表現したもの、家族の幸せ感を表現したもの、昆虫を取り込んだもの、きれいなひまわりや力強く咲き誇るひまわりを捉えたものなどなど・・・実に幅広い対象を写した作品をご応募いただき、主催者であります座間市・座間市観光協会さらには各賞の提供団体にとりましても喜ばしいことと伺っております。

また、応募された方の年齢も 16 歳から 85 才の方までと幅広く、さらに受賞者の中には例年入賞しているベテランも健在と、多くの方々にご指示いただいたものと心強く感じております。

入賞作品につきましては、全応募作品の中から 21 作品を選出し、その中の 11 作品に賞の名称を付し、他の 10 本を入選としました。11 賞を獲得された方の作品には、それぞれに寸評を記しておきましたのでどうぞご覧ください。惜しくも入賞（21 作品）を逃した方の中にも良い作品が多数ありました。特に同じものを撮影対象とした作品で、複数の方からご応募いただいた場合、また、なにぶんにも入賞数を 21 作品に絞らなければならないと言う審査基準の中で、残念ながら含めることができなかつた作品が多くありました。この点は審査に携わる者として大変心が痛みます。作品は年々レベルアップしておりご応募くださる写真愛好家の質の高さを感じております。

なお、このコンテストはまた来年も続けて開催する計画です。一人でも多くの皆様にご参加いただきますよう関係者一同努力し心よりお待ち申し上げますので、ご応募いただきますよう宜しくお願い申し上げます。この度の「ざまひまわり写真コンテスト」審査員の感想とさせていただきます。皆様とはまた次回にこの会場でお会いできることを期待いたしております。

平成 24 年 10 月 14 日

日本写真協会会員 高橋ぎいち